

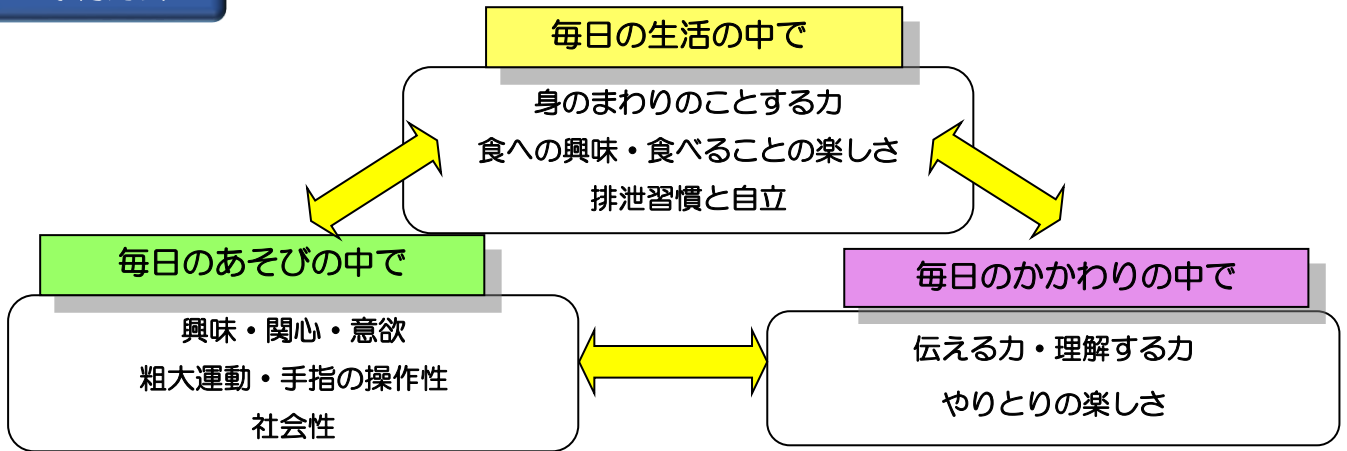


あけぼの学園の療育



療育方針

集団生活の中で、あそびを通していろいろな力をはぐくむ



◎「人（担任や友だち）との響きあいの中で活動」します（小集団療育：1クラス9～10人）

◎あけぼの学園のクラスを居場所とし「個々に合わせた生活経験の積み重ね」を大切にしています

◎こどもはあそびを通してさまざまな学習をし、成長発達します。（あそび＝領域別活動）

◎「ご家庭との協力」が不可欠であると考えています

療育内容

領域別活動中心の療育。曜日（月～金）別に活動を実施します

経験を積み重ねることで発達が促されるように領域別支援計画を作成します
朝起きて、脳もしっかり目覚めている午前中に領域別活動を行います



領域別活動ってどんなことをするの？

からだ：さまざまな体育遊具をつかい、体を使ったあそびを行います。その中でいろいろな感覚を感じ、自分で体をコントロールして動かす力を身につけます。夏にはプール活動も行います。

さんぽ：いろいろな道を友だちと歩く経験を通して、運動面だけでなく、社会性や自然事象などへの興味関心も育てます。園にはない遊具のある公園にも出かけ、**からだ**の領域としても活動します。

つくる：いろいろな素材の感触や道具の扱い方を経験する活動です。手指の操作性を促し、目と手の協応性を育みながら、できたという喜びから達成感や見通しを持つ力も育てます。

リズムあそび：ペープサートなどを見たり、音楽を聞いて体を動かしたり、楽器を操作したりする活動を行います。その中で見たり、聞いたり、表現する力を育てます。

集団あそび：自分以外の人への存在に気づき、一緒に遊ぶ経験をする中で、人間関係の基礎を築きます。友だちや大人の中でルールがあることを知り、社会性を育てます。

グループ活動：クラス活動の他に、コミュニケーションの課題別にグループを編成し活動します。見たり聞いたり、模倣したり、指示を聞いて行動したりすることを通して、「物事理解」や「伝えようとする力」を伸ばします。